

カメラ等搭載車両を活用した道路等周辺情報の管理効率化

インフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入検討
官民連携グリーンチャレンジモデル

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

背景 様々な公共インフラが一斉に老朽化を迎え、維持管理に係る業務稼働・費用は増加傾向

対象 全ての自治体

課題 限られた予算内・稼働内での効率的かつ効果的な維持管理

②提案の概要

■ NTTグループ保有の専用車両(一例)

MMS : Mobile Mapping System



MMS(ステレオカメラ方式)



MMS(レーザー方式)



路面性状車

画像や点群情報
による設備点検



道路幅や
地上高等の計測



ひび割れ・轍等の計測

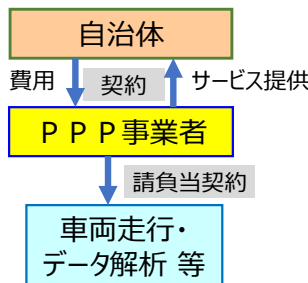


■ 実現可能なメリット

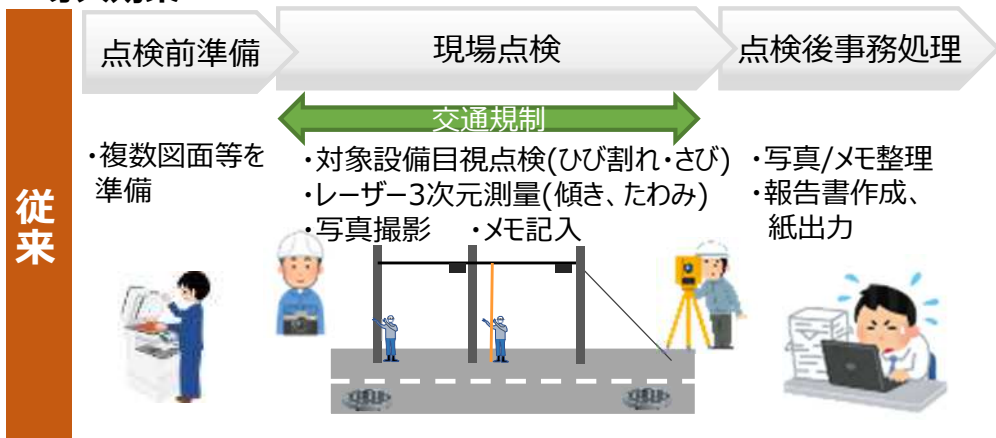
専用車両を走行させることで、道路等周辺情報を自動で収集でき、**人手を掛けることなく効率的にメンテナンスに活用できる情報を取得**

紙で管理されていた情報をDX化し、経年変化を分析することにより、**メンテナンスの優先順位の判断や行政コストとの低減化を実現**

■ 事業スキーム



■ 導入効果



③スキーム(技術)の導入により得られる効果

・インフラの点検業務の効率化を通じた、住民要望への迅速な対応等

その他

・トリプルIP@/MMS 公式Webサイト
<https://www.nttinf.co.jp/service/mms/>